

県内特A工事業者売上高ランキング

(2018/11～2019/10)

当期	前期	会社名	決算期	売上高 (百万円)	売上高 増減率 (%)	所在地
1	1	國場組	2019 6	38,225	6.6	那覇市
2	4	大建建設	2019 6	22,294	30.3	那覇市
3	3	沖電工	2019 3	20,311	15.7	那覇市
4	2	屋部土建	2019 9	20,065	10.7	名護市
5	6	アメリカンエン ジニアリング	2018 12	12,417	▲21.2	宜野湾市
6	8	仲本工業	2019 10	11,832	12.2	沖縄市
7	12	上門工業	2019 6	11,726	83.5	沖縄市
8	5	金秀建設	2019 3	11,061	▲30.9	那覇市
9	10	大城組	2019 3	10,238	20.7	浦添市
10	7	沖縄プラント工 業	2019 3	10,224	▲4.4	浦添市
11	9	太名嘉組	2019 6	10,006	11.0	浦添市
12	11	共和産業	2019 5	8,453	14.0	宮古島市
13	13	新洋	2019 6	6,481	5.9	浦添市
14	25	佐平建設	2019 6	6,345	70.2	宮古島市
15	16	東江建設	2019 6	6,321	18.6	浦添市
16	15	福地組	2018 12	6,264	12.6	嘉手納町
17	14	大成ホーム	2019 3	5,753	▲4.2	浦添市
18	20	先崎建設	2019 6	5,635	31.4	宮古島市
19	47	大寛組	2018 12	5,145	125.7	那覇市
20	21	ツナミ組	2019 6	5,140	20.0	名護市
21	33	東恩納組	2019 6	4,776	52.1	豊見城市
22	23	大晋建設	2019 6	4,598	21.0	那覇市
23	18	大地建設	2019 5	4,525	2.8	那覇市
24	38	東開建設	2019 6	4,525	55.1	名護市
25	24	北勝建設	2019 5	4,393	34.5	国頭村
26	32	大鏡建設	2019 7	4,274	34.0	那覇市
27	26	金城キョ建設	2019 6	4,148	21.3	那覇市
28	19	徳里産業	2019 6	4,084	▲6.0	嘉手納町
29	22	りゅうせき建設	2019 3	3,841	▲7.4	浦添市
30	30	大興建設	2019 6	3,335	3.7	嘉手納町
31	29	琉球開発	2019 5	3,298	1.6	沖縄市
32	36	富士建設	2019 7	3,193	14.1	宜野湾市
33	24	照正組	2019 6	3,107	▲17.1	与那原町
34	60	丸政工務店	2019 6	2,873	63.9	金武町
35	17	丸尾建設	2019 7	2,789	▲43.9	石垣市
36	31	沖電開発	2019 3	2,744	▲14.3	浦添市
37	35	第一三興建設	2019 6	2,698	▲6.6	那覇市
38	41	平安座総合開発	2019 6	2,694	5.3	うるま市
39	62	呉屋組	2019 9	2,566	47.0	糸満市
40	46	丸元建設	2019 9	2,548	11.5	那覇市
41	27	沖創建設	2019 6	2,534	▲23.8	那覇市
42	38	明城建設	2019 5	2,447	▲5.9	沖縄市
43	44	照屋土建	2019 6	2,436	2.7	糸満市
44	45	旭建設	2019 6	2,404	3.9	北谷町
45	50	国吉組	2019 6	2,365	16.7	うるま市
46	40	屋島組	2019 5	2,322	▲10.2	那覇市
47	49	南洋土建	2019 5	2,303	10.3	那覇市
48	75	極東建設	2019 4	2,285	71.9	那覇市
49	51	基土木	2019 5	2,201	9.5	沖縄市
50	43	太田建設	2019 6	2,123	▲10.9	沖縄市
51	55	内盛産業	2019 5	2,043	8.0	沖縄市
52	64	米元建設工業	2019 6	2,037	19.2	那覇市
53	56	丸南建設	2019 6	2,021	7.3	宜野湾市
54	37	丸内(旧:丸内重機)	2019 6	1,970	▲26.4	宜野湾市
55	54	沖縄工務	2019 6	1,954	0.5	浦添市
56	59	オパス	2019 6	1,798	▲1.1	浦添市
57	56	鏡原組	2019 5	1,776	35.6	那覇市
58	52	南成建設	2019 5	1,750	▲12.2	那覇市
59	39	丸憲	2019 6	1,687	▲34.8	那覇市
60	67	共和技研	2019 6	1,675	3.2	豊見城市
61	70	仲本建設	2019 6	1,671	13.8	沖縄市
62	42	与儀組	2019 6	1,652	▲34.8	那覇市
63	72	三善建設	2019 6	1,623	15.4	西原町
64	81	古波蔵組	2019 5	1,590	24.9	宮古島市
65	71	琉幸建設	2019 6	1,579	11.7	うるま市
66	48	沖縄ビーシー	2019 3	1,548	▲28.2	沖縄市
67	89	協栄海士土木	2019 8	1,508	46.7	与那原町
68	74	牧港建設	2019 5	1,462	13.5	浦添市
69	87	牧原建設	2019 6	1,452	22.5	那覇市
70	80	明成建設	2019 6	1,449	13.5	浦添市
71	57	丸善組	2019 6	1,444	▲22.2	うるま市
72	65	金城組	2019 6	1,321	▲19.9	南風原町
73	86	くくる	2019 6	1,313	15.3	名護市
74	58	座波建設	2019 2	1,280	▲30.2	浦添市
75	83	尚輪興建	2019 5	1,261	4.0	宮古島市
76	74	仲程土建	2019 6	1,240	▲8.1	宜野座村
77	63	國幸興發	2019 6	1,226	▲29.5	那覇市
78	61	七和	2019 5	1,131	▲35.4	西原町
79	91	喜屋武建設	2019 6	1,109	19.4	浦添市
80	88	有志建設	2019 6	1,107	6.9	恩納村
81	78	沖永開発	2019 6	1,061	▲17.2	浦添市
82	69	高橋土建	2019 6	1,038	▲30.6	那覇市
83	92	大協建設	2019 5	1,038	15.0	読谷村
84	68	小波津組	2019 6	1,020	▲33.4	那覇市
85	90	内間土建	2019 6	1,013	▲1.2	浦添市
86	82	山口建設	2019 6	965	▲23.0	大宜味村
87	94	北部造園土木	2019 5	909	16.8	宜野座村
88	95	武国建設	2019 6	906	25.8	名護市
89	85	南山開発	2019 4	888	▲24.9	豊見城市
90	66	丸石建設	2019 6	869	▲47.2	うるま市
91	93	幸地建設	2019 6	865	7.3	沖縄市
92	73	光建設	2019 5	842	▲38.3	糸満市
93	79	豊神建設	2019 6	815	▲36.3	豊見城市
94	87	前田建設	2019 6	814	▲27.8	宜野湾市
95	101	仲間組	2018 12	740	23.1	金武町
96	53	オリジン建設	2019 6	733	▲62.4	那覇市
97	98	米正建設	2019 6	721	6.8	那覇市
98	99	呉開発	2019 6	643	▲8.3	那覇市
99	96	共洋土建	2019 6	594	▲8.4	那覇市
100	100	丸孝組	2019 5	578	▲9.4	大宜味村
101	102	ムトウ建設	2019 6	553	▲7.8	那覇市
102	104	とみひろ建設	2019 5	500	▲1.0	那覇市
103	103	山城重機	2019 3	468	▲14.4	名護市
104	97	南海土木	2019 6	434	▲35.9	石垣市
合計				394,049	6.1	

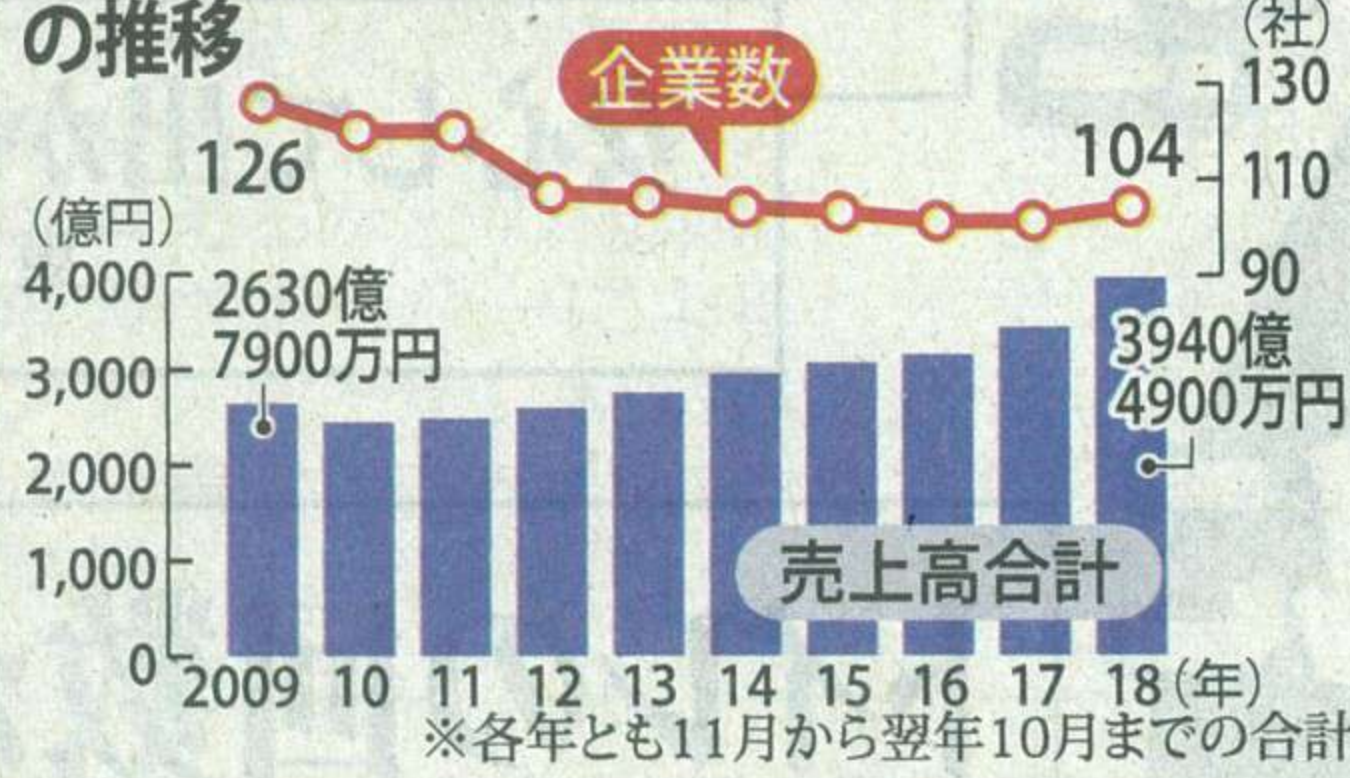
帝国データバンク沖縄支店が21日発表した県内特A工事業者の売上高ランキング(2018年11月～19年10月)によると、県内104社の売上高合計は前年同期比6.1%増の3940億4000万円となった。観光客数の増加に伴い、高級リゾートホテルのハレクラニ沖縄や大型商業施設のサンエー浦添西海岸パル

18年11月～19年10月期 3940億円最高

県内特A売上高6.1%増

帝国データ調べ

県内特A工事業者の売上高合計と企業数の推移



占める61社で、減収の43社を上回った。1社当たり換算した平均売上高は6%増の37億8800万円、収益力の改善が続いている。一方、黒字企業は前期より8社減少の93社。赤字企業は8社増加の11社だった。鉄筋工や型枠工などの職人不足による人件費の高騰で、下請け会社への支払費用がかさみ工事原価が膨らんだ。

純利益(黒字額)の合計は5.8%減の11億5330万円、純損失(赤字額)の合計は3.1倍の5億3620万円となった。同支店は建設業の特徴として増収減収の立て替わりが著しいと

国内の航空各社は21日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う需要の減少に伴い、沖縄関連の航空路線の追加減便を発表した。日本航空グループ(JAL、JTA、

運休や減便、運航ダイヤの変更に合わせて、航空各社のホームページ(HIP)などでは5月の大型連休中など対象期間の予約を一時中止。HP上では「満席」と表示されていたが、各社とも「満席ではなく、予約を一時止めていたため、誤解を生んでしまい申し訳ない」と説明した。

久米島町内で和牛の血統不一致が疑われたことを受け、県家畜改良協会が全国和牛登録協会にDNA検査を依頼した数が合計79頭に上ることが分かった。血統不一致は20日までに同協会の検査で18頭、昨年6月以降の農家などの独自調査で確認された5頭の計23頭に上っている。

一方、検査結果待ちの牛は98頭、DNA不一致のあった優良種牛「安福」の血統とされる80頭の検査を依頼し、14頭の不一致が判明した。その後、JAAおきなわが安福以外の199頭の検査を依頼。20日までに101頭の結果が出て、4頭の不一致が判明。残り98頭は検査中。

県は今後、県内の全繁殖師約2800人の繁殖簿確認や、再発防止策などに乗り出す。同協会の赤穂雅敏事務局長は「書類不備をなくするため、年度内に人工授精簿などをデータベースで管理するシステムも導入したい」と話した。

県内特A工事業者の売上高合計と企業数の推移。売上高は3940億4000万円、企業数は104社。平均売上高は37億8800万円。



テイクアウト商品のみで営業をしている味噌めしや。またま＝20日、那覇市泉崎



ドライブスルーによる料理の提供開始をPRする沖縄市の「コアカレー」系列のカレー革命軍SINGH(シン)のスタッフ(同店提供)

自慢

那覇市の「味噌めしや」が、3月の売り上げは前月比7割減。染谷さんは「コロナが長期化する」との見立てもあり、飲食店は新しいサービス

の在り方を考える時期にきている。1年先を見越して対策を立てなければ」と次なる策を模索している。

27日ー来月6日 コロナ受け一部減便

東陽バス(南城市、新入勝行社長)は21日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、27日～5月6日の期間中、日

曜・祝日ダイヤで運行すると発表した。学校の休校や在宅勤務などの促進による利用者の減少や運転手の感染リスク軽減、緊急時にも運行を継続できる体制確保のため、高速バスと基幹急行バスは平常通り運行する。

総合事務局によると、琉球バス、那覇バス、沖縄バスも20日までに運行計画の変更を届け出ている。

東陽バスの日祝ダイヤ運行となる系統は、30番泡盛東線、31番泡盛西線、37番那覇新開線、38番志喜線、60番泡盛イオンモールライカム線、191番城間線、338番斎場御嶽線、通常通りの111番高速バス、331番急行バスを除くと、合計で約26%にあたる31往復が減る。

同社によると、外出自粛などの影響で4月1日から17日までの間に羽田・那覇など3路線56便、ピーチ・アビエーションは4月24日～5月31日の期間中、大阪・石垣など3路線192便を追加で運休する。

運休や減便、運航ダイヤの変更に合わせて、航空各社のホームページ(HIP)などでは5月の大型連休中など対象期間の予約を一時中止。HP上では「満席」と表示されていたが、各社とも「満席ではなく、予約を一時止めていたため、誤解を生んでしまい申し訳ない」と説明した。

久米島町内で和牛の血統不一致が疑われたことを受け、県家畜改良協会が全国和牛登録協会にDNA検査を依頼した数が合計79頭に上ることが分かった。血統不一致は20日までに同協会の検査で18頭、昨年6月以降の農家などの独自調査で確認された5頭の計23頭に上っている。

一方、検査結果待ちの牛は98頭、DNA不一致のあった優良種牛「安福」の血統とされる80頭の検査を依頼し、14頭の不一致が判明した。その後、JAAおきなわが安福以外の199頭の検査を依頼。20日までに101頭の結果が出て、4頭の不一致が判明。残り98頭は検査中。

県は今後、県内の全繁殖師約2800人の繁殖簿確認や、再発防止策などに乗り出す。同協会の赤穂雅敏事務局長は「書類不備をなくするため、年度内に人工授精簿などをデータベースで管理するシステムも導入したい」と話した。

沖縄路線新たに減便

コロナ影響 航空各社、運休も

国内の航空各社は21日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う需要の減少に伴い、沖縄関連の航空路線の追加減便を発表した。日本航空グループ(JAL、JTA、

運休や減便、運航ダイヤの変更に合わせて、航空各社のホームページ(HIP)などでは5月の大型連休中など対象期間の予約を一時中止。HP上では「満席」と表示されていたが、各社とも「満席ではなく、予約を一時止めていたため、誤解を生んでしまい申し訳ない」と説明した。

久米島町内で和牛の血統不一致が疑われたことを受け、県家畜改良協会が全国和牛登録協会にDNA検査を依頼した数が合計79頭に上ることが分かった。血統不一致は20日までに同協会の検査で18頭、昨年6月以降の農家などの独自調査で確認された5頭の計23頭に上っている。

一方、検査結果待ちの牛は98頭、DNA不一致のあった優良種牛「安福」の血統とされる80頭の検査を依頼し、14頭の不一致が判明した。その後、JAAおきなわが安福以外の199頭の検査を依頼。20日までに101頭の結果が出て、4頭の不一致が判明。残り98頭は検査中。

県は今後、県内の全繁殖師約2800人の繁殖簿確認や、再発防止策などに乗り出す。同協会の赤穂雅敏事務局長は「書類不備をなくするため、年度内に人工授精簿などをデータベースで管理するシステムも導入したい」と話した。

県内特A工事業者の売上高合計と企業数の推移。売上高は3940億4000万円、企業数は104社。平均売上高は37億8800万円。

宮古島でも不一致疑い

農相和牛血統問題に苦言

宮古島市内で飼育されている和牛の母牛1頭に血統不一致の疑いがあることが21日までに分かった。JAA宮古が県の補助事業を利用し、牛の能力検査をする「ゲノム育種事業」で63頭の母牛と子牛

の検査をしたことで発見した。血統不一致の疑いは石垣市内でも3頭見つかった。江藤拓農林水産相は21日の会見で「このように事実が連続して起こることは極めて遺憾の通達を出した」。

だ」と述べ、県に再発防止を申し入れたことを明らかにした。江藤氏は、一連の問題について新聞報道で把握したと、県に早期の通報徹底を求めた。他の都道府県にも同様の通達を出した。

良種牛「安福」の血統とされる80頭の検査を依頼し、14頭の不一致が判明した。その後、JAAおきなわが安福以外の199頭の検査を依頼。20日までに101頭の結果が出て、4頭の不一致が判明。残り98頭は検査中。

久米島血統検査279頭 不一致調査 98頭結果待ち

久米島町内で和牛の血統不一致が疑われたことを受け、県家畜改良協会が全国和牛登録協会にDNA検査を依頼した数が合計79頭に上ることが分かった。血統不一致は20日までに同協会の検査で18頭、昨年6月以降の農家などの独自調査で確認された5頭の計23頭に上っている。

一方、検査結果待ちの牛は98頭、DNA不一致のあった優良種牛「安福」の血統とされる80頭の検査を依頼し、14頭の不一致が判明した。その後、JAAおきなわが安福以外の199頭の検査を依頼。20日までに101頭の結果が出て、4頭の不一致が判明。残り98頭は検査中。

県は今後、県内の全繁殖師約2800人の繁殖簿確認や、再発防止策などに乗り出す。同協会の赤穂雅敏事務局長は「書類不備をなくするため、年度内に人工授精簿などをデータベースで管理するシステムも導入したい」と話した。

県内特A工事業者の売上高合計と企業数の推移。売上高は3940億4000万円、企業数は104社。平均売上高は37億8800万円。

沖縄ヤマト運輸は新型コロナウイルス感染拡大を受け、22日から宅配業務を午前9時～午後7時の短縮営業に切り替える。当日再配達受け付けも午後6時まで。また、那覇空港、イオンモール沖縄ライカム両店舗を5月6日まで臨時休業とする。